

タイヤの店頭販売が本数前年比13%増と好調、冬タイヤは同41%の伸長 －2024年2月の自動車用タイヤ・エンジンオイル・バッテリー販売速報－

GfK Japan（東京：中野区）は、全国のカー用品店、タイヤ専門店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットの販売実績データを元に、市場規模相当に拡大推計した自動車用タイヤ、エンジンオイル、バッテリーの販売速報を公表した。

■タイヤ

2024年2月の自動車用タイヤ販売は本数は前年並みであった。しかしながら、店頭では同13%増であったことに対し、インターネットでは同12%減と明暗が分かれる結果となった。店頭的好調は降雪があったことに支えられており、冬タイヤは本数前年比41%増、オールシーズンタイヤは同34%増の伸長を見せた。タイヤ全体の税抜き平均価格は11,200円と前年同月から6%上昇し、店頭では7%、インターネットでは3%上昇した。この結果、金額前年比は6%増と堅調に推移し、店頭では21%増、インターネットでは9%減となった。

販売本数前年比



販売金額前年比



税抜き平均価格



■エンジンオイル

2024年2月の自動車用エンジンオイル販売は、販売量（リットル換算）ベースで前年比13%増と好調であった。ただ、4L缶の販売は数量前年比13%減と不調で、店頭が同12%減、インターネットでは同23%減と大幅に前年を割り込んだ。4L缶の粘度別にみると、最も販売量の多い0W-20は数量前年比9%減に留まったものの、5W-30が同15%減、5W-40が同30%減と大幅な減少となった。4L缶の税抜き平均価格は4,224円と前年同月から9%上昇し、店頭では10%、インターネットでは4%上昇した。4L缶全体の金額前年比は5%減となり、店頭では3%減、インターネットでは20%減であった。

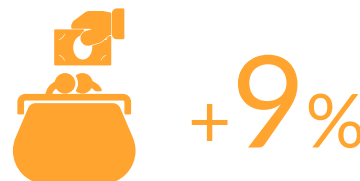
販売数量前年比



販売金額前年比



税抜き平均価格



※販売数量前年比、販売金額前年比、税抜き平均価格はそれぞれ4L缶ベース

■ バッテリー

2024年2月の自動車用バッテリー販売は数量前年比3%増と微増で、店頭では1%増、インターネットでは7%増となった。D26が数量前年比17%増、B20が同15%増と全体をけん引した。またEN規格のバッテリーは数量前年比5%増で、店頭では同33%増と著しい伸長を見せた。バッテリー全体の平均価格は前年同月から7%上昇し13,560円となり、店頭では10%、インターネットでは2%上昇した。これにより金額前年比では10%増と二桁成長を示した。店頭の金額前年比は11%増、インターネットでは8%増であった。

販売数量前年比



販売金額前年比



税抜き平均価格



- タイヤはカー用品店、タイヤ専門店（メーカー系列を除く）、ガソリンスタンド、インターネットを集計対象としております。
- エンジンオイル及びバッテリーはカー用品店、ガソリンスタンド、ホームセンター、インターネットを集計対象としております。